

盛岡市遺跡の学び館

平成23年度 館 報



里館遺跡 第56次調査区全景

盛岡市遺跡の学び館

はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から早2年が経過しました。文献に残る貞観地震津波以来の巨大津波によって東日本の太平洋沿岸地域では、多くの尊い人命とその地域に育まれた自然・歴史・文化が一瞬にして奪い去られてしまいました。

現在も被災地では日々懸命の救出・復旧、そして復興作業が昼夜を徹して進められてきています。

当市も被災地の行政機能回復などに向け、早くから各部署からの職員派遣を行い、23年4月からは被災地の文化財資料の救出作業を岩手県及び内陸部自治体の文化財担当職員らが中心となって継続的に進めてきました。当館では8月から厚生労働省の緊急雇用創出事業を導入し、収蔵資料の防災管理の充実や沿岸部の被災資料の水洗作業などを行う「文化財レスキュー事業」を行い、また志波城古代公園を舞台に体験講座や被災地支援のチャリティーイベントなども実施してきました。

24年度から沿岸市町村では本格的に高台移転に伴う埋蔵文化財包蔵地の発掘調査が計画・実施されてきており、4月以降、当市も岩手県市長会及び文化庁要請による沿岸市町村の埋蔵文化財調査のための長期派遣に参加し、宮古・大船渡市の2市において、埋蔵文化財の発掘調査を担当しています。

郷土の歴史・文化・自然を取り戻そうという地元の強い願いの一助になればと考え、今後も息の長い支援活動が不可欠であり、一刻も早く郷土の歴史・文化の再生ができますよう祈念するものであります。

平成25年3月

盛岡市遺跡の学び館

館長 田山 浩充

例言

- 1 本書は、盛岡市遺跡の学び館の平成23年度館報である。
- 2 本書の編集執筆は、当館職員が協議して行った。
- 3 Ⅲ-4の埋蔵文化財発掘調査の記載内容は、平成23年度に当館が行った発掘調査の概略をまとめたもので、一部の遺跡は正報告書刊行済みであるが、大半は整理終了後、別途刊行予定である。
- 4 Ⅳ-3の埋蔵文化財発掘調査の記載についての例言は以下のとおりである。
 - (1) 遺構の平面位置は公共座標X系を座標変換した調査座標で表示した。なお、座標は世界測地系を使用している。座標原点は以下のとおりである。
・山王山遺跡 X=-33,500.000 Y+28,500.000
 - (2) 高さは標高値をそのまま使用している。
 - (3) 土層図は堆積の仕方を重視し、線の太さを使い分けた。土層注記などは本文でふれる以外は割愛した。層相の観察にあたっては、『新版標準土色帖』（1994小山正忠・竹原秀雄）を参考にした。
 - (4) 遺構記号は堅穴住居跡：RA、建物跡：RB、柱列跡：RC、土坑：RD、堅穴：RE、焼土遺構RF、溝跡：RG、配石・集石遺構：RH、古墳など：RXとした。
 - (5) 本書に使用した地図は、「盛岡広域都市計画図1:10,000」、「盛岡市遺跡地図2008年版」ほかを縮小して使用。スケールは任意であるが、およそ1:15,000～1:20,000である。
 - (6) 発掘調査にともなう記録や出土遺物は、当館で保管している。

目次

はじめに

例言

目次

I 施設概要

- 1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業…3
- 2 事業経過…3
- 3 建設事業費等…3
- 4 施設概要…3

II 職員体制…4

III 事業概要

- 1 管理運営…5
- 2 学芸事業…6
- 3 東日本大震災関連文化財レスキュー活動…12
- 4 埋蔵文化財発掘調査…14
報告書抄録

I 施設の概要

1 (仮称) 盛岡市文化財センター建設事業

平成12年12月24日未明の「文化財調査室」の火災事故以後、防災に強い施設整備に向けて、平成13年5月より(仮称)盛岡市文化財センター建設構想に係る庁内外との協議(企画調整課・財政課・管財課・契約検査課・公園緑地課・建築営繕課・地域整備公団(当時))を開始し、総合計画との関連および予算措置・建設用地等についての協議をおこなった。各関係機関との協議を経て、同年7月に文化庁から埋蔵文化財センター建設事業(国庫補助)について、平成14年度の事業実施の方向性を打診。建設用地は市先人記念館・子ども科学館・県立美術館の立地する盛岡市中央公園地内を候補地とし、諸機関との調整の上、同年8月に事業開始となった。

2 事業経過

平成13年度	「(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計」策定、展示構想策定業務、地質調査
平成14年度	建築実施設計、展示施設計画、建築工事・土木工事
平成15年度	建築工事・土木工事 展示施設製作業務委託、盛岡市遺跡の学び館設置条例制定
平成16年度	盛岡市遺跡の学び館施行規則制定 施設の名称を「盛岡市遺跡の学び館」とする
平成16年6月1日	盛岡市遺跡の学び館開館
平成24年3月末	開館以来の施設総利用者数97,841人

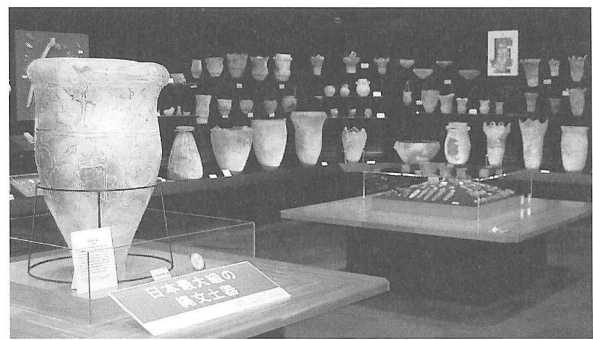
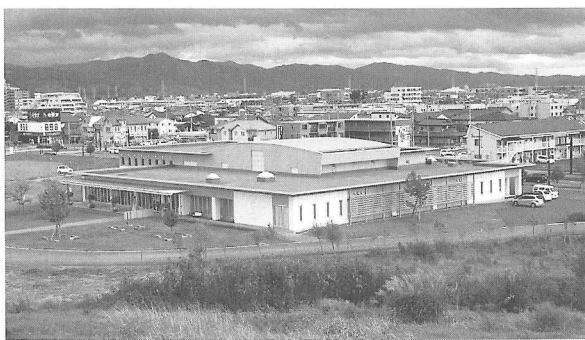
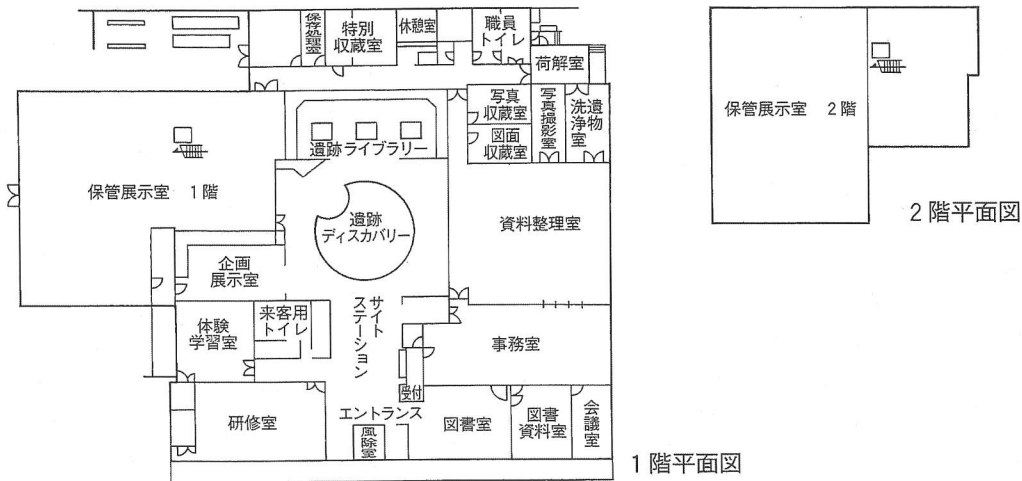
3 建設事業費等

・建設事業費 677,123千円(国庫補助210,000千円・県補助105,000千円)

総事業費	677,755 千円	建築設計	株式会社三衡設計舎
建築設計委託	24,985	展示施設構想策定・製作	株式会社丹青社
建築工事費	455,490	建築主体工事	株式会社阿部正工務店
土木工事費	43,543	敷地造成工事	有限会社東北農林建設
展示計画策定業務委託	8,820	電気設備工事	新興電機株式会社
展示施設製作業務委託	91,308	給排水設備工事	有限会社門坂工業
備品購入費	44,700	機械設備工事	中央水道土木株式会社
その他	6,909	地質調査業務委託	旭ボーリング株式会社
		敷地植栽工事	株式会社やまいわ
		簡易リフト設置工事	三機商事株式会社

4 施設概要

施設の名称と位置	名称	盛岡市遺跡の学び館		設置	平成16年3月31日
	住所	岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1		開館	平成16年6月1日
施設の概要	構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造平屋(一部重層)			
	敷地面積	5,788.8㎡	建築面積	2,639.9㎡	延床面積 2,748.72㎡
室名と面積	展示部門	常設展示室(450.8㎡)、企画展示室(81.4㎡)、展示器材室			
	教育普及部門	研修室(117.0㎡)、図書資料室(47.7㎡)、図書室(66.3㎡)、体験学習室(70.9㎡)、研修機材室、学習器材室等			
	収蔵部門	保管展示室(897.3㎡・1階517.8㎡・2階379.5㎡)、特別収蔵室(46.5㎡)、写真収蔵室(27.2㎡)、図面収蔵室(27.2㎡)			
	調査整理部門	資料整理室(237.2㎡)、遺物洗浄室(37.1㎡)、写真撮影室(28.8㎡)、保存処理室(14.7㎡)			
	管理部門	会議室(30.8㎡)、事務室(157.7㎡)、荷解室(24.5㎡)、休憩室(12.7㎡)			



第1図 館内平面図及び外観・展示室写真

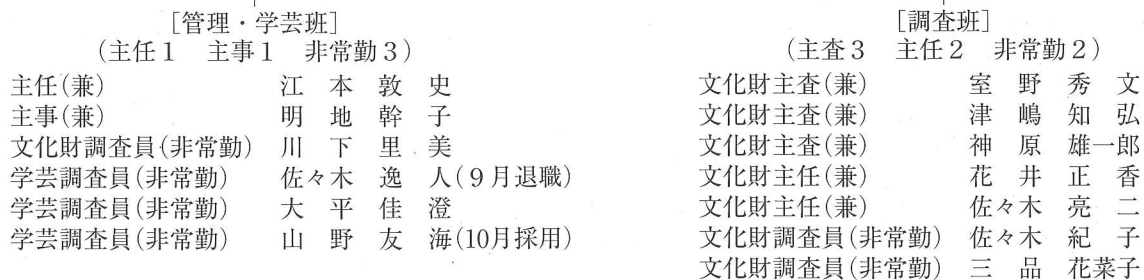
【収蔵資料】（平成23年度末現在）

資料区分	細区分	内 容	点 数	
考古資料	H23年度発掘調査分	・山王山遺跡・台太郎遺跡・細谷地遺跡・里館遺跡・矢盛遺跡	小コンテナ29箱	
	今までの調査資料	完形品等展示資料	・土器・土製品・石器・石製品・陶磁器・鏡・古銭・金属器・木製品・瓦・装身具・小判・経石等	約5,300点
		破片等コンテナ収納資料	・プラスチックコンテナ収納（土器・石器破片、自然遺物含む） ※コンテナ503×700×397mm、小コンテナ387×586×142mm	大300箱 小15,732箱
	寄贈寄託	個人コレクション	・奥健夫氏ほか寄贈考古資料 ・一本松経塚・安倍館遺跡出土遺物ほか	1,740点 2点
標本等	模型・レプリカ	・模型・レプリカ・土壌サンプル等	—	
調査記録資料	図面	・図面（原図・第2原図・遺物実測図等）	約3,400枚	
	写真	・写真（モノクロ・カラーネガ：35mm、6×7、4×5） ・カラースライド（35mm、6×7） ・デジタル画像（700MB：CD・DVD）	約130,000コマ 約44,000コマ 約350枚	

II 職員体制

館長(兼) 田山 浩 充

館長補佐(兼) 千田 和 文



Ⅲ 事業概要

1 管理運営

・盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会

盛岡市における中核史跡や重要遺跡の保存活用と遺跡整備の基本的方向を定めることを目的として平成12年に設置。遺跡の学び館の開館を機に、当館の企画運営に関しても併せて指導していただいている。

【期 日】 平成23年2月8日（金）13：30～15：00 【会 場】 当館 研修室

【出席者】 委員長 嶋 千秋（盛岡市文化財保護審議会委員）

委員 菅野 文夫（岩手大学教育学部教授）、金野 万里（文化地層研究会事務局）

熊谷 哲也（代理：井藤聡 小学校長会岩大附属小学校主幹教諭）

瀬川 君雄（（株）東広社常務取締役）

藤村 幸雄（街づくり集団ゆいネット盛南事務局長）

教育委員会 千葉仁一教育長、佐藤義見教育部長

田山浩充歴史文化課長兼遺跡の学び館長

歴史文化課及び当館職員

【議 事】 報告 ・平成23年度遺跡の学び館事業報告

・志波城跡保存整備事業関連の報告

・文化財レスキュー関連報告

協議 ・平成24年度遺跡の学び館事業計画（案）
について



【年間事業費】（平成23年度決算額）

事業名	事業費（決算額）	事業内容
管理運営事業	14,685,987円	・臨時職員賃金、施設設備の維持管理経費等
学芸事業	3,073,010円 （うち国補助1,313千円）	・テーマ展、企画展、調査資料展、体験学習会、普及資料の作成、収蔵資料データシステム管理等
盛岡遺跡群発掘調査事業	3,019,555円 （うち国補助1,480千円、 県補助444千円）	・個人住宅建築に係る事前調査及び指定史跡の内容確認調査等（発掘調査、資料整理及び発掘調査報告書の刊行）
埋蔵文化財調査事業	577,861円	・公共事業（消防施設、火葬場駐車場等）に伴う事前発掘調査
盛南開発地区埋蔵文化財発掘調査活用事業	21,777,000円 （うちまちづくり交付金4,700千円、 起債7,500千円、受託事業収入7,077千円）	・盛南開発事業に係る発掘調査及び活用事業 ・台太郎・細谷地・矢盛・夕覚・焼野遺跡5遺跡7地点 ・ゆいとびあミュージアムネットワーク
緊急雇用創出事業 盛岡市文化財レスキュー事業	7,900,188円 （厚労省交付金による県雇用対策基金）	・震災で被災された方々の雇用・就業機会の創出と提供 ・埋蔵文化財資料の収蔵管理の見直しと沿岸部被災資料の再水洗作業等
計	51,033,601円	

【入館者統計】（開館以降の入館者等利用状況：平成16年6月～平成24年3月）

	有料入館者						計	減免利用者			展示室 利用者数	展示室以外 の利用者数	総計
	個人			団体				一般	小・中	計			
	一般	小・中	小計	一般	小・中	小計							
H16	2,837	923	3,760	792	422	1,214	4,974	5,316	610	5,926	10,900	1,896	12,796
H17	2,298	1,475	3,773	582	372	954	4,727	2,064	597	2,661	7,388	2,800	10,188
H18	2,024	1,557	3,581	259	798	1,057	4,638	1,575	1,098	2,673	7,311	5,244	12,555
H19	1,932	1,710	3,642	413	851	1,264	4,906	1,660	1,102	2,762	7,668	5,290	12,958
H20	2,157	2,218	4,375	473	804	1,277	5,652	1,859	982	2,841	8,493	6,263	14,756
H21	2,144	2,158	4,302	375	525	900	5,202	1,336	516	1,852	7,054	5,450	12,504
H22	2,012	1,594	3,606	228	268	496	4,102	1,114	411	1,525	5,627	3,624	9,251
H23	1,753	1,644	3,397	709	1,874	2,583	5,980	1,007	690	1,697	7,677	5,156	12,833
計	17,157	13,279	30,436	3,831	5,914	9,745	40,181	15,931	6,006	21,937	62,118	35,723	97,841

2 学芸事業

今年度の当館主催の学芸事業として企画展示室においてテーマ展・企画展、23年度調査資料展を開催したほか、市民参加による体験学習会を年間を通じて全7回開催し、またゴールデンウィーク・夏休み・冬休み期間中には個人を対象とした体験学習会などを開催した。また発掘調査現地での説明会の実施、普及資料の発行、さらに出前講座、博物館実習をはじめ、各種実習・研修・行政視察等の受入を行った。

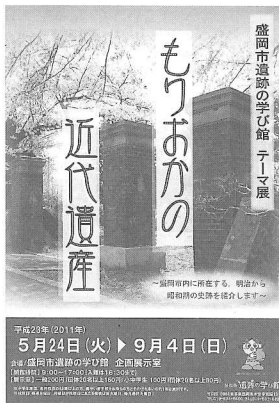
(1) 展示公開・普及活動

【展示会】

タイトル等	テーマ展「もりおかの近代遺産」	会場	当館企画展示室
		来場者数	3,495名
開催期間	平成23年5月24日(火)～平成23年9月4日(日)	展示資料数	231点
展示構成	<input type="checkbox"/> 軍都盛岡―煉瓦建物のある風景― <input type="checkbox"/> 市内に点在する近代化遺産 <input type="checkbox"/> 近代のガラス瓶 <input type="checkbox"/> 「陸軍用地」境界		
概要	<p>市内に所在する明治期以降の工業・交通運輸や軍事に関する遺跡、各地に残る記念碑などの紹介や遺跡から出土した近代以降の数々の遺物を展示した。</p> <p>東日本大震災では、多くの沿岸市町村で史跡・遺跡を含む有形無形の文化財が被害を受け、また知られないまま失われた地域の遺産も数多く存在したと思われる。一瞬にして街が失われる現実を目の当たりにし、併せて自分たちの住む街の歴史や文化についても改めて再認識したり、再評価する必要があるのではないかと考え、市内に点在する明治期以降、盛岡や県の産業振興等に寄与した近代化遺産について紹介した。</p>		
作成資料	ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		

タイトル等	第10回企画展「祈りと信仰の世界―モノに込められた人々の願い―」	会場	当館企画展示室
		来場者数	2,510名
開催期間	平成23年9月13日(火)～平成24年2月5日(日)	展示資料数	166点
展示構成	<input type="checkbox"/> 来世への願い <input type="checkbox"/> 現世への願い <input type="checkbox"/> 墓制について		
概要	<p>古来より人々は神仏や自然、また自分たちの祖先などを崇め、様々な存在に祈りを捧げてきた。その対象は祖先の魂など形の無いもののほか、仏像や神社・巨木・巨石といった地上に現れているものや経塚・墓など、地上と地下に跨って造られているものも存在する。遠い未来や来世へ伝えるため、また自分が生きている現世や先祖や大地への感謝のためなど、人々はどのような願いや祈りを込めて多くの「しるし」を残してきたのか。今回の展示は「モノ」に託された「祈り」と「信仰」をテーマに私たちの身近にも眠っているかも知れない「しるし」について、経塚や墓塚の出土遺物を中心に企画した。</p>		
作成資料	展示図録・ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		

タイトル等	第29回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する―平成23年度調査速報―」	会場	当館企画展示室
		来場者数	1,789名
開催期間	平成24年2月7日(火)～平成24年5月20日(日)	展示資料数	141点
展示遺跡	台太郎遺跡、里館遺跡、細谷地遺跡、志波城跡、繫遺跡		
概要	平成23年度に市内で発掘された13遺跡のうち、主要な5遺跡の調査概要について、出土遺物・写真・解説パネル等で展示・公開した。		
作成資料	展示パンフレット・ポスター・チラシ・展示資料一覧		



テーマ展チラシ



企画展チラシ



資料展チラシ

【講演会】（企画展関連）

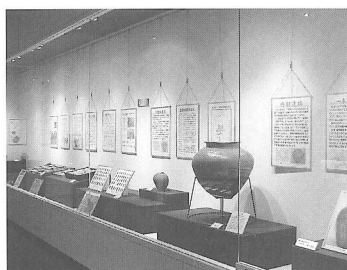
開催日	タイトル・講師	聴講者
平成23年10月30日(日) 13:30~15:30	講演会「岩手の経塚」 岩手県教育委員会生涯学習文化課 鎌田 勉氏	40名

【学芸講座】（企画展関連）

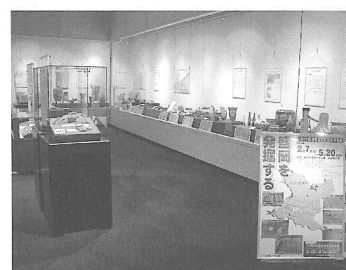
開催日	タイトル・講師	聴講者
平成23年6月19日(日) 13:30~15:00	学芸講座Ⅰ「発掘された盛岡のまち」 当館 神原 雄一郎 文化財主査	11名
平成23年7月17日(日) 13:30~15:00	学芸講座Ⅱ「岩手の産業遺跡」 当館 千田 和文 館長補佐	10名
平成23年8月21日(日) 13:30~15:00	学芸講座Ⅲ「近代のモニュメントとその痕跡」 当館 花井 正香 文化財主任	11名
平成23年11月27日(日) 13:30~15:00	学芸講座Ⅳ「盛岡の経塚」 当館 佐々木 亮二 文化財主任	39名



テーマ展「もりおかの近代遺産」



企画展「祈りと信仰の世界」

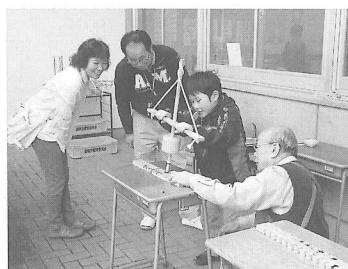


第29回埋蔵文化財調査資料展

(2) 参加型体験活動

【体験学習会】

開催日	タイトル・講師	参加者
平成23年6月12日(日) 13:00~15:30	「考古学者になってみよう！遺跡発掘体験」 対応：当館職員・サポーターズクラブ	37名
平成23年7月10日(日) 13:30~16:30	「縄文土器をつくってみよう！」(親子) 対応：当館職員・サポーターズクラブ	24名
平成23年7月23日(土) 13:00~15:30	「縄文土器を野焼きしよう！」(親子) 対応：当館職員・サポーターズクラブ	21名
平成23年10月16日(日) 10:00~15:30	「縄文生活体験」(親子) 対応：当館職員・サポーターズクラブ	8名
平成23年11月6日(日) 9:00~16:00	「バスツアー もりおか史跡・遺跡めぐり—安倍館遺跡から八幡館山へ—」 対応：当館職員・サポーターズクラブ	14名
平成23年12月11日(日) 10:00~15:00 平成23年12月23日(金) 10:00~12:00	「ロクロをつかってやきもの作り！」 講師 松田 昭夫氏 補助：サポーターズクラブ	6名
平成24年2月19日(日) 13:30~16:30	「カゴを作ってみよう！」(親子) 講師 佐々木逸人氏 補助：サポーターズクラブ	15名



春の個人体験学習会



体験学習 縄文生活体験



秋のバスツアー

【個人体験学習会】

催事のタイトル	開催期間	体験学習のメニュー	参加者
ゴールデンウィーク 個人体験学習会	平成23年4月29日(金)～ 5月8日(日) 10日間	午前の部 10:00～11:30 午後の部 13:00～14:30 メニュー: 勾玉作り・土 玉彩色・拓本とり(有 料)、火おこし(無料)	勾玉作り78名、土玉彩色49名 拓本7名、火おこし287名
夏休み個人体験学習会	平成23年7月30日(土)～ 8月12日(金) 13日間		勾玉作り92名、土玉彩色82名 拓本7名、火おこし305名
冬休み個人体験学習会	平成24年1月7日(土)～ 1月15日(日) 8日間		勾玉作り78名、土玉彩色103名 拓本5名、火おこし274名

(3) ボランティア活動や地域連携活動

【遺跡の学び館サポーターズクラブ】

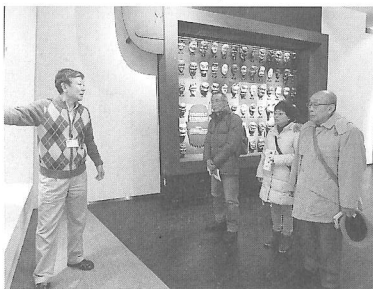
当館の体験学習など行事運営を支援・協力するボランティア団体の「サポーターズクラブ」が発足して6年目を迎えた。本年度の会員数は12名で、当館行事の春・夏・冬の個人体験学習会・バスツアー・土器作り・野焼き・遺跡発掘体験や大規模SCでのもりとぴあねっとPRなどの支援事業を中心に精力的に活動をしていただいた。

また自主活動として土器作りの技術向上のための勉強会や会員の親睦・史跡見学・他地域のボランティアさんとの交流を兼ねた研修旅行(研修先:北上市:鬼の館、花巻市石鳥谷町南部杜氏伝承館・石鳥谷歴史民俗資料館・総合文化財センター等 期日:平成24年1月29日(日))を企画し、4名が参加された。またサポーターズクラブの意見交換や事業記録として「サポーターズ通信」の編集刊行を行った。

【盛岡ゆいとぴあミュージアムネットワーク】

「もりおかゆいとぴあミュージアムネットワーク」(略称もりとぴあねっと)は盛岡市中央公園・本宮・太田地区の博物館・美術館6施設(岩手県立美術館・盛岡市原敬記念館・盛岡市子ども科学館・盛岡市先人記念館・盛岡市遺跡の学び館・志波城古代公園)で構成されたネットワークで、平成19年度に設立。施設間の連携により、共同テーマによるイベント・展示会の開催を行い、利用者が美術・歴史・科学・先人(人物)などに対し、多角的に興味関心を持つ機会を提供し、利用促進を図るための企画を展開した。

催事のタイトル	開催期間(日)	内 容	参加・聴講者数
ぐるり☆もりとぴあ スタンプラリー	平成23年7月16日(土)～ 9月25日(日)	・施設PRとして、スタンプラリー台紙を小学生児童に配布。7会場中、4カ所の押印で記念品贈呈。	7施設全体のスタンプ 押印者数1,100名以上 記念品交換者数430名
勾玉ネックレスづくり	平成23年10月1日(土) 13:30～16:00	・地元大型SCを会場として、粘土に彩色して作った勾玉とビーズを組み合わせてネックレス作り。(サポーターズクラブ支援)	42名



サポーターズクラブ研修旅行
(花巻市総合文化財センター視察)



スタンプラリーリーフレットと台紙

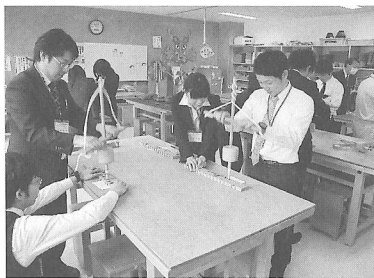


勾玉ネックレスづくり

(4) 研修・実習活動

【研修・実習受入】

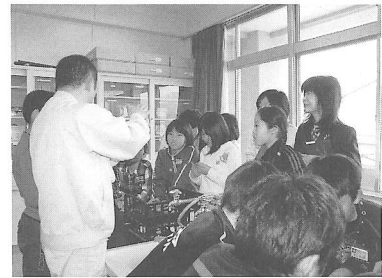
開催日	内容	依頼団体（会場）	参加者
平成23年4月28日(木)	市教育委員会初任者研修	市教育委員会学校教育課 (遺跡の学び館)	14名
平成23年 7月26日(火)～7月30日(土)	インターンシップ実習	盛岡公務員法律専門学校 (遺跡の学び館)	4名
平成23年 8月16日(火)～8月20日(土)	博物館実習（5日間）	弘前大学1名、愛知学院大学1名、 岩手大学2名、盛岡大学1名	5名
平成23年12月28日(水)	平成23年度 盛岡市教育研究所第2回公開講座	盛岡市教育研究所 (遺跡の学び館)	17名



先生方の火おこし体験



博物館実習



出前講座（飯岡小学校）

(5) 出前講座・講師派遣活動

【出前講座】

開催日時	内容	講師	依頼団体（会場）	参加者
平成23年4月28日(木)	【出前講座】 もりおかの歴史 「遺跡から見た飯岡の歴史」	佐々木亮二 文化財主任 三品花菜子 文化財調査員	盛岡市立飯岡小学校	26名
平成23年6月19日(日)	「江戸時代～昭和期の上田かいわい」	花井 正香 文化財主任	上田もの識り歴史講座 (上田公民館)	30名
平成23年7月8日(金)	【出前講座】 もりおかの遺跡「繋の縄文遺跡」	神原雄一郎 文化財主査	もりおか老人大学繫分校 (つなぎ地区活動センター)	28名
平成23年7月25日(月)	講話「自らの夢について、またその実現に向けて日々努力されていることについて」	大平 佳澄 学芸調査員	盛岡市立見前南中学校	172名
平成23年9月3日(土)	「わくわくチャレンジふれあいの日」校舎外活動	佐々木亮二 文化財主任	盛岡市立手代森小学校	60名
平成23年9月16日(土)	【出前講座】 もりおかの遺跡 「飯岡地区の遺跡」	佐々木亮二 文化財主任	盛岡老人大学飯岡分校 (飯岡農業構造改善センター)	30名
平成23年10月15日(土)	本州最寒の地 藪川・山菜と交流の里づくり事業関連ワークショップ・お宝探検隊「塩の道小本街道と岩洞湖畔の遺跡群」	神原雄一郎 文化財主査	藪川地区活性化推進協議会 ツーリズム推進グループ (岩洞活性化センター・岩洞湖周辺)	30名
平成23年11月18日(金)	講演会 「祈りと信仰の世界」	佐々木亮二 文化財主任	盛岡の歴史を語る会 (盛岡市総合福祉センター)	70名
平成24年2月18日(土)	【出前講座】 もりおかの遺跡 「厨川地区の遺跡」	佐々木亮二 文化財主任	盛岡ひ・ストーリー (西部公民館)	20名

(6) 職員研修活動

【専門研修派遣】

期 間	内 容	派遣職員	主催・会場
平成24年 2月1日(水) ～3日(金)	平成23年度文化財等取扱講習会「被災文化財修復コース：人文系資料修復コース」	川下里美 文化財調査員 山野友海 学芸調査員	財団法人岩手県文化振興事業団岩手県立博物館
平成24年 2月6日(月) ～2月10日(金)	埋蔵文化財担当者専門研修「保存科学Ⅲ(応急処置)課程」	三品花菜子 文化財調査員	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
平成24年 2月22日(火) ～23日(水)	平成23年度岩手県史跡整備市町村協議会文化財行政担当職員研修会	佐々木亮二 文化財主任	岩手県史跡整備市町村協議会(リバーパークにいさと「湯ったり館」)
平成24年 2月23日(木) ～24日(金)	平成23年度「歴史文化基本構想」研修会	菊池幸裕 文化財主査 花井正香 文化財主任	文化庁文化財部伝統文化課文化財保護調整室(東京文化財研究所)



奈良文化財研究所担当者専門研修
保存科学Ⅲ(応急処置)実習状況



文化庁歴史文化基本構想研修会発表風景

【関連会議等出席】

期 間	内 容	派遣職員	会場・視察先
平成23年 5月26日(木) ～27日(金)	平成23年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	千田和文 館長補佐	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会(長野県長野市松代町)
平成23年 9月29日(木) ～30日(金)	平成23年度日本博物館協会東北支部・東北地区博物館協会役員会並びに総会・研修会	千田和文 館長補佐	日本博物館協会東北支部・東北地区博物館協会(山形県立生涯学習センター「遊学館」、東北芸術工科大学)
平成23年10月27日(木)	平成23年度岩手県博物館等連絡協議会総会・研修会	田山浩充 館長	岩手県博物館等連絡協議会(花巻市博物館)
平成23年11月22日(火)	平成23年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 役員会	千田和文 館長補佐	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会(東京都：都道府県会館)



長野市松代町大室古墳群の視察



被災資料の修復(東北芸術工科大学)

(7) 発掘調査成果の公開及び刊行活動

【現地説明会と調査成果報告会】

開催日時	遺 跡 名 (所在地)	参加者
平成23年11月19日(土) 10:30~11:30	里館遺跡第56次発掘調査現地説明会(天昌寺町地内)	40名
平成24年3月4日(日) 13:30~15:00	第29回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する-平成23年度調査速報-」 関連事業「平成23年度調査成果報告会」	65名



里館遺跡第56次調査現地説明会



調査成果報告会

【埋蔵文化財調査報告書の刊行】

件 名	発行日	部数	販売の有無
「館野前遺跡-寺院建築に伴う緊急発掘調査報告書-」	平成23年8月10日	150部	公的機関に配布
「盛岡市遺跡の学び館 平成22年度館報」	平成24年3月31日	350部	〃

【展示会関連刊行物】

件 名	発行日	部数	販売価格等
第10回企画展「祈りと信仰の世界-モノに込められた人々の願い-」【解説図録】	平成24年2月1日	150部	600円
第29回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する-平成23年度調査速報-」解説パンフレット	平成23年2月7日	2,000部	無料配布
遺跡の学び館特報	平成24年3月29日	1,000部	無料配布

(8) 図書整備活動

【寄贈図書及び購入図書】

(冊)

形態	分野	内 容	寄贈・購入冊数		計
			平成22年度末	平成23年度増加分	
発掘調査報告書			14,175	795	14,970
一 般 図 書	考古学	概説書など	197	4	201
	歴史学	日本史・郷土史など	132	18	150
	民俗学	民具・民俗芸能など	7	3	10
	美術工芸	絵画・彫刻・建造物など	27	3	30
	自然科学	動植物など	4	1	5
	文化財保護	一般文化財・保存計画・保存処理・復元など	14	3	17
	博物館学	博物館概論・開館記念誌など	3	0	3
	その 他	辞典・事典など	29	4	33
資料集	図録・解説書・パンフ・レジユメなど		1,371	151	1,522
全集	3冊以上		401	1	402
論集	論文集など		37	0	37
通史	市町村史		245	1	246
逐次刊行物	雑誌・年報・館報・紀要・研究報告など		3,480	182	3,662
計			20,122	1,166	21,288

埋蔵文化財センターとして、全国各地の遺跡発掘調査報告書や遺跡関係書籍および歴史関連書籍や論文集、一般刊行物、各種パンフレットなどの資料を主体に保管収集している。これらの蔵書は図書室の開架棚で来館者が自由に閲覧できるものと、図書資料室に収蔵のうえ、受付に申し出て閲覧できる図書に区分している。

3 東日本大震災関連文化財レスキュー活動

【現地派遣による支援活動】

○岩手県及び内陸部市町村の文化財行政職員により実施した、被災した沿岸市町の博物館及び文化財収蔵施設からの文化財・考古資料等の救出・回収及び搬出作業に参加した。

派遣日	派遣先	作業場所	作業内容	派遣人数
平成23年 4月15日(金)	大槌町	大槌中学校	津波により、海水を被った大槌中学校保管の埋蔵文化財資料の搜索・回収作業と内陸部自治体等の文化財収蔵施設への運搬作業に従事。	3名
4月21日(木)	陸前高田市	埋蔵文化財収蔵庫・市立博物館	津波により倒壊した市埋蔵文化財収蔵施設及び市博物館内で、散乱した文化財・考古資料の搜索と回収作業に従事。	5名
5月24日(火)	陸前高田市	埋蔵文化財収蔵庫	津波により倒壊した市埋蔵文化財収蔵施設で、散乱した考古資料の搜索と回収作業に従事。	3名
5月25日(水)	陸前高田市	埋蔵文化財収蔵庫		3名
5月26日(木)	陸前高田市	埋蔵文化財収蔵庫		2名
5月27日(金)	陸前高田市	埋蔵文化財収蔵庫		3名
6月9日(木)	陸前高田市	市立博物館	館内搬出の土砂に混入した遺物(土器・石器・骨角器等)の篩がけ回収作業に従事。	3名



水損資料の回収作業 (大槌町)



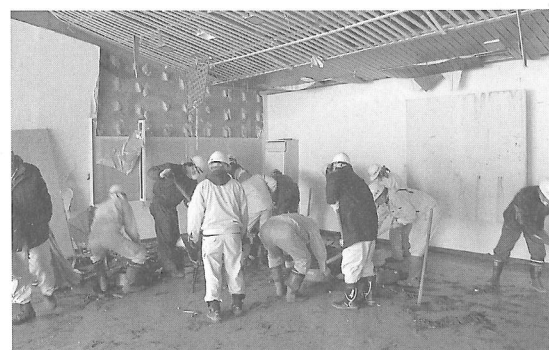
資料搜索・回収作業 (陸前高田市)



砂層に埋もれた資料の搜索 (陸前高田市)



自衛隊・地元ボランティアとの共同搜索 (陸前高田市)



博物館内部の資料搜索・回収作業 (陸前高田市)



篩いかけ作業 (陸前高田市)

【盛岡市文化財レスキュー事業】

○厚生労働省主管の「雇用創出事業の活用による被災者の雇用機会の創出」事業を導入。沿岸で被災され、盛岡市周辺に転居された方を主体に雇用し、館内外の収蔵庫に保管されている資料の整理・点検・地震対策及び被災市町村の文化財資料の復旧作業を実施。

作業期間	作業内容	従事者
平成23年8月1日(月) ～平成24年3月30日(金)	・分散収納されている埋蔵文化財資料の把握と収蔵管理の見直し及び被災した陸前高田市の救出・回収資料の再水洗作業の実施。	5名

【レスキュー報告及びミニ資料展の開催】

○展示室の一角を活用し、沿岸被災地における文化財レスキュー作業報告と当館収蔵の陸前高田市「門前貝塚」のミニ資料展を開催（期間：平成24年1月29日～平成24年6月）



3月11日の被害状況



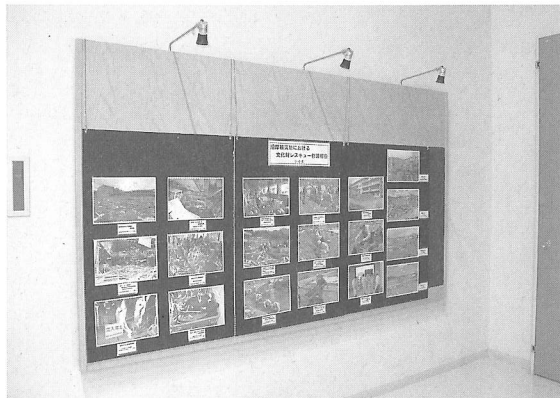
地震対策① クッションロープの設置



地震対策② 転倒防止ビニパッチの設置



被災資料の水洗作業



沿岸被災地における文化財レスキュー作業報告

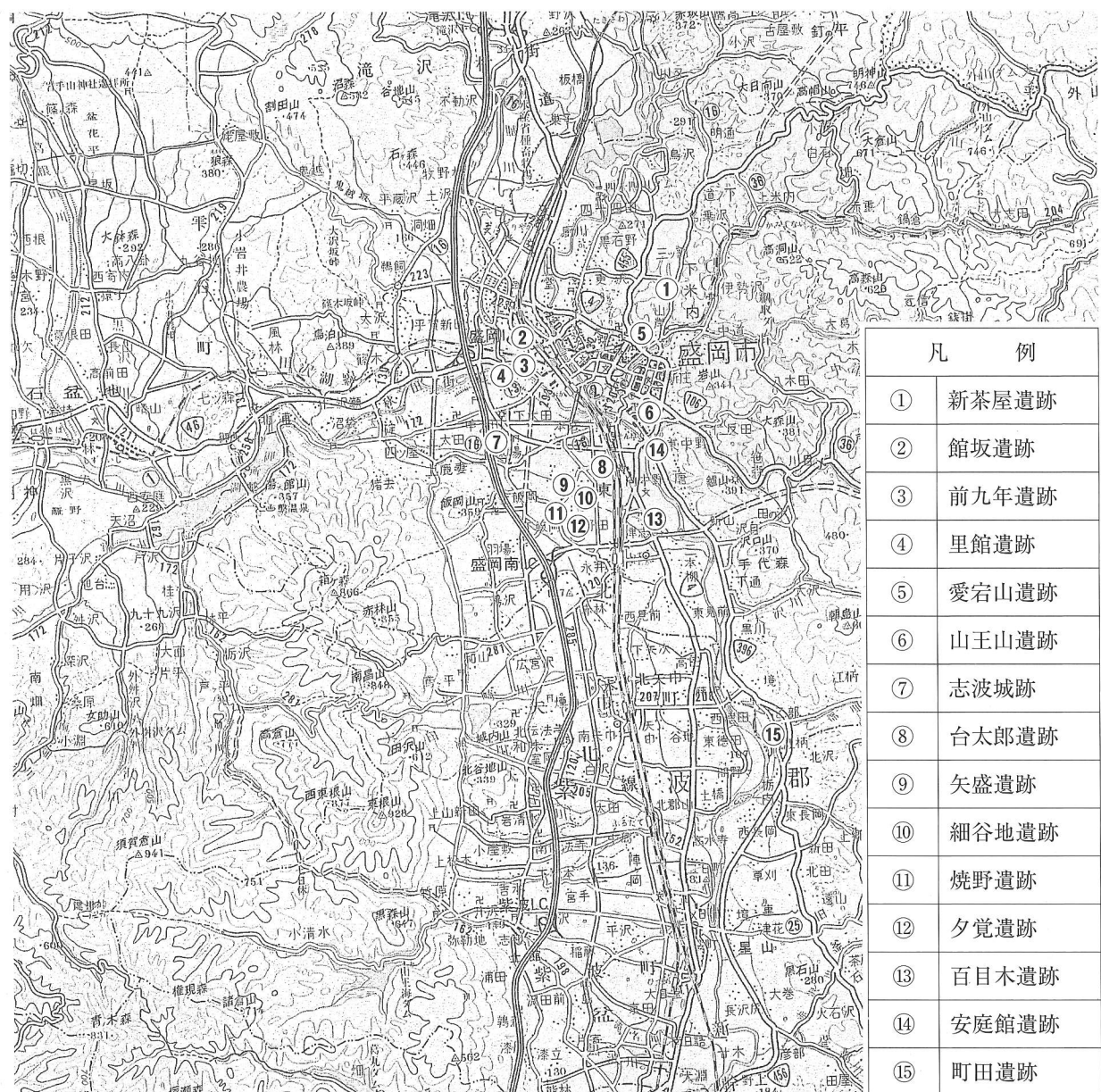


陸前高田市「門前貝塚」のミニ資料展

4 埋蔵文化財発掘調査

平成23年度に盛岡市遺跡の学び館が実施した試掘調査は14件、本調査が10件の計24件である。内訳は大規模区画整理事業関連による調査（試掘含む）が8件、消防防災施設・火葬場駐車場建設等の公共事業に伴う試掘調査が2件、民間開発関連では送電線鉄塔新設に伴う試掘調査1件、寺院付属施設等の建設に伴う調査（試掘含む）2件、宅地造成が5件、共同住宅建築が2件、個人住宅建築等に伴う調査が4件で、調査総面積は16,579㎡となっている。

面積的には盛岡南新都市開発整備事業関連が最も多く、5遺跡8地点で実施され、調査面積は7,271㎡で全体の44%を占める。また市内の各地域で調査が多く実施されたのは盛南開発・民間事業を含めても太田・向中野・飯岡・仙北の北上川西岸地区が11地点で、他に上田地区2地点、厨川地区4地点、乙部地区3地点、築川地区3地点となっており、また玉山地区では23年度は調査は実施されていない。本館報では遺構・遺物が検出された発掘調査（本調査・試掘調査）を主体に記述し、その他については一覧表での記載のみに留めた。



第2図 平成23年度調査遺跡位置図 (S=1:200,000)

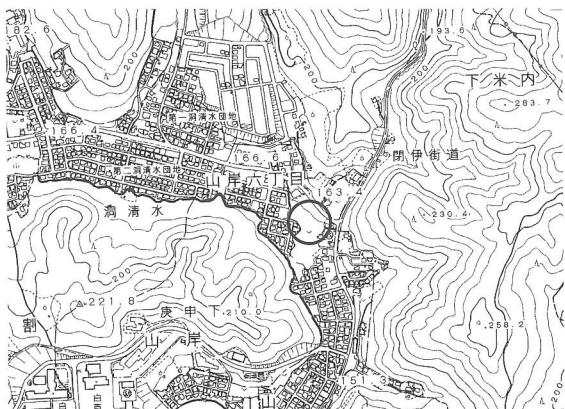
【平成23年度埋蔵文化財発掘調査（本調査・試掘調査）一覽】

区分	NO.	遺跡名	次数	所在地	調査事由	調査期間	調査面積 (㎡)	遺構・出土遺物
本 調 査 試 掘 調 査	1	台太郎遺跡	74	向中野字八日市場30-1 ほか	土地区画整理	5/30～7/15 9/6～11/11	1,120	奈良時代の竪穴住居跡4棟、土坑3基、平安時代の 竪穴住居跡3棟、土坑1基、古代末～中世の堀跡3 条、時期不詳の土坑12基、溝跡6条、ピット128口 遺物：奈良・平安時代の土器（土師器・須恵器・あ かやき土器）、石製品（紡錘者車・砥石）、土製品（勾 玉・土玉・紡錘車）、鉄製品（刀子）、フイゴの羽口、 布製品、中世のかわらけ コンテナ11箱
	2	細谷地遺跡	28	向中野字細谷地40-5ほか		7/19～9/12 11/10～12/9	1,501	平安時代の竪穴住居跡2棟、古代の土坑2基、時期 不詳の土坑4基、溝跡1条、柱列跡1基、ピット23 口 遺物：平安時代の土器（土師器・須恵器・あ かやき土器）、鉄製品（刀子） コンテナ2箱
	3	細谷地遺跡	29	向中野字細谷地39ほか		7/19～11/18	2,104	平安時代の竪穴住居跡2棟、古代の溝跡1条、時期 不詳の土坑3基、溝跡2条、ピット16口 遺物：平 安時代の土器（土師器・須恵器・あかやき土器）、 鉄製品（刀子） コンテナ1箱
	4	夕覚遺跡 (試掘調査)	9	飯岡新田第5地割44ほか		7/4	418	遺構・遺物なし
	5	細谷地遺跡 (試掘調査)	30	向中野字細谷地69-1ほか		7/26,11/7～9	747	遺構・遺物なし
	6	焼野遺跡 (試掘調査)	3	飯岡新田第4地割55ほか		11/14	408	遺構・遺物なし
	7	夕覚遺跡 (試掘調査)	10	飯岡新田第5地割34-2 ほか		11/28	264	遺構・遺物なし
	8	矢盛遺跡	30	飯岡新田第4地割1-2ほか		12/5～12/28	709	時期不詳の方形周溝1条、土坑3基、溝跡1条、 ピット14口 遺物：古代の土器（土師器・あかやき 土器）、近世～近代の陶磁器
	9	台太郎遺跡	73	向中野1-15地内、16- 12ほか	宅地造成ほか	5/9～7/21	4,360	平安時代の竪穴住居跡7棟、竪穴状遺構6棟、土坑 22基、平安～近世の溝跡6条、近世の掘立柱建物跡 1棟、遺物：平安時代の土器破片（土師器・須恵器）、 近世陶磁器を検出
	10	山王山遺跡	13	山王町64-1の一部	共同住宅建築	5/9～5/12	66	平安時代の竪穴住居跡1棟、縄文時代の遺物包含層 遺物：平安時代の土器破片（土師器）、縄文時代の 石器（剥片）
	11	里館遺跡	53	天昌寺町242-5、245-1	供養塔及び駐車 場整備	8/22～11/25	2,130	古代の竪穴住居跡1棟、中世の竪穴建物跡21棟、土 坑52基、中世～近世の掘立柱建物跡10棟、柱穴1.052 口、近世の溝跡2条、焼土遺構11基、近世～近代の 室跡1基、時期不詳の陥し穴状遺構7基 遺物：古 代の土器破片（土師器）、中世～近世の陶磁器、古銭、 鉄製品、琥珀原石ほか
	12	台太郎遺跡 (試掘調査)	73	向中野1-16-12ほか	宅地造成ほか	4/4～4/5	(587)	平安時代の竪穴住居跡7棟、時期不詳の溝跡2条、 遺物：平安時代の土器破片（土師器・須恵器）を検 出
	13	志波城跡 (試掘調査)	105	①指定地外：下太田林 崎48ほか ②指定地内：下太田宮 田107ほか	送電線鉄塔新設	①4/12～4/26 ②11/25～12/5	①392 ②880	①指定地外：太田線No.2,3,5,5-1.7の5地点遺構・遺 物なし ②指定地内の1・2区：遺構・遺物なし 3区：平 安時代の竪穴住居跡5棟、土坑4基、溝跡1条、柱 穴2口を検出 4区：平安時代の竪穴住居跡2棟、 溝跡1条を検出 遺物：平安時代の土器（土師器・ 須恵器）を検出
	14	山王山遺跡	13	山王町64-1の一部	共同住宅建築	4/13	145	平安時代の竪穴住居跡1棟、遺物：平安時代の土器 破片（土師器）を検出
	15	町田遺跡 (試掘調査)	16	乙部第30地割45-2	個人住宅建築	5/18	75	遺構なし、遺物：縄文時代土器破片1点
	16	里館遺跡 (試掘調査)	53	天昌寺町224の一部、 242-5・26・32、245-1・6	供養塔及び駐車 場整備	5/19～5/21	(250)	中世～近世の竪穴建物跡17棟、土坑26基、柱穴160 口 遺物：中世～近世の陶磁器
	17	新茶屋遺跡 (試掘調査)	3	山岸6-46-11、269-2	消防防災施設	11/15～11/16	150	縄文～弥生時代の遺物包含層 遺物：縄文時代早 期～前期の土器破片・石器、弥生時代後期の土器破 片
	18	新茶屋遺跡 (試掘調査)	4	山岸6-46-1ほか	宅地造成	11/15～11/18	584	縄文～弥生時代の遺物包含層 遺物：縄文時代早 期～前期及び後期の土器破片・石器、弥生時代後期 の土器
	19	前九年遺跡 (試掘調査)	5	前九年2-217-3ほか	個人住宅建築	11/24	37	遺構・遺物なし
	20	安庭館遺跡 (試掘調査)	4	東中野字五輪39-1	個人住宅建築	11/28～11/29	21	遺構なし、遺物：縄文時代中期及び平安時代の土器 破片
	21	愛宕山遺跡 (試掘調査)	1	三ツ割字寺山23ほか	市営火葬場駐車 場建設	12/15	94	遺構なし、遺物：縄文時代前期の土器破片6点
	22	町田遺跡 (試掘調査)	17	乙部第30地割71-2	個人住宅建築	2012/1/17	42	遺構・遺物なし
	23	百目木遺跡 (試掘調査)	33	三本柳第5地割44-3、 44-4、45-6,46の一部	宅地造成及び共 同住宅建築	2012/3/15	113	遺構なし、遺物：平安時代の土器破片6点
	24	館坂遺跡 (試掘調査)	13	前九年2-132-1,132-29	宅地盛土造成・ 擁壁工事	2012/3/21～ 3/22	219	縄文時代の陥し穴状遺構1基、遺物：縄文時代早期 の土器・石器
計							16,579	()内は本調査面積に含まれる

○公共事業関連（市公共工事関連）

(1) 新茶屋遺跡第3次調査

- | | | | |
|--------|---------------------|--------|----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市山岸6丁目46-11、269-2 | 2 調査事由 | 消防防災施設建設 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成23年11月15・16日 |
| 5 調査面積 | 150㎡ | 6 調査員 | 神原雄一郎 |
- 7 確認された遺物 縄文時代前期初頭の土器破片
- 8 調査概要 遺跡は市街地北部の四十四田丘陵南東緩斜面に形成された小規模扇状地に立地し、平成7年度に隣接地で実施された調査では、縄文時代早期から前期の遺物包含層が確認され、今次調査も遺物の出土状態から、その遺物包含層の延長上に位置するものと思われる（平成25年度に本調査を予定）。



新茶屋遺跡第3次調査区位置図



試掘調査状況

(2) 愛宕山遺跡第1次調査

- | | | | |
|--------|---------------|--------|--------------|
| 1 調査地 | 盛岡市三ツ割字寺山23 外 | 2 調査事由 | 市営火葬場立体駐車場建設 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成23年12月15日 |
| 5 調査面積 | 94㎡ | 6 調査員 | 花井正香 |
- 7 確認された遺物 縄文時代早期～前期及び後期の土器・石器
- 8 調査概要 遺跡は市街地北部の四十四田丘陵の南緩斜面に形成された小規模な沢地形の窪地に立地する遺跡で、隣接する尾根部には近世修験の堂宇とされる「太郎坊跡」が位置する。また近世～近代窯跡の痕跡の一部も確認されている。今次調査では5本のトレンチを設定し、過去の墓地造成時の盛土を確認したのみで、出土遺物は上部からの流れ込みと推定される。



愛宕山遺跡第1次調査区位置図

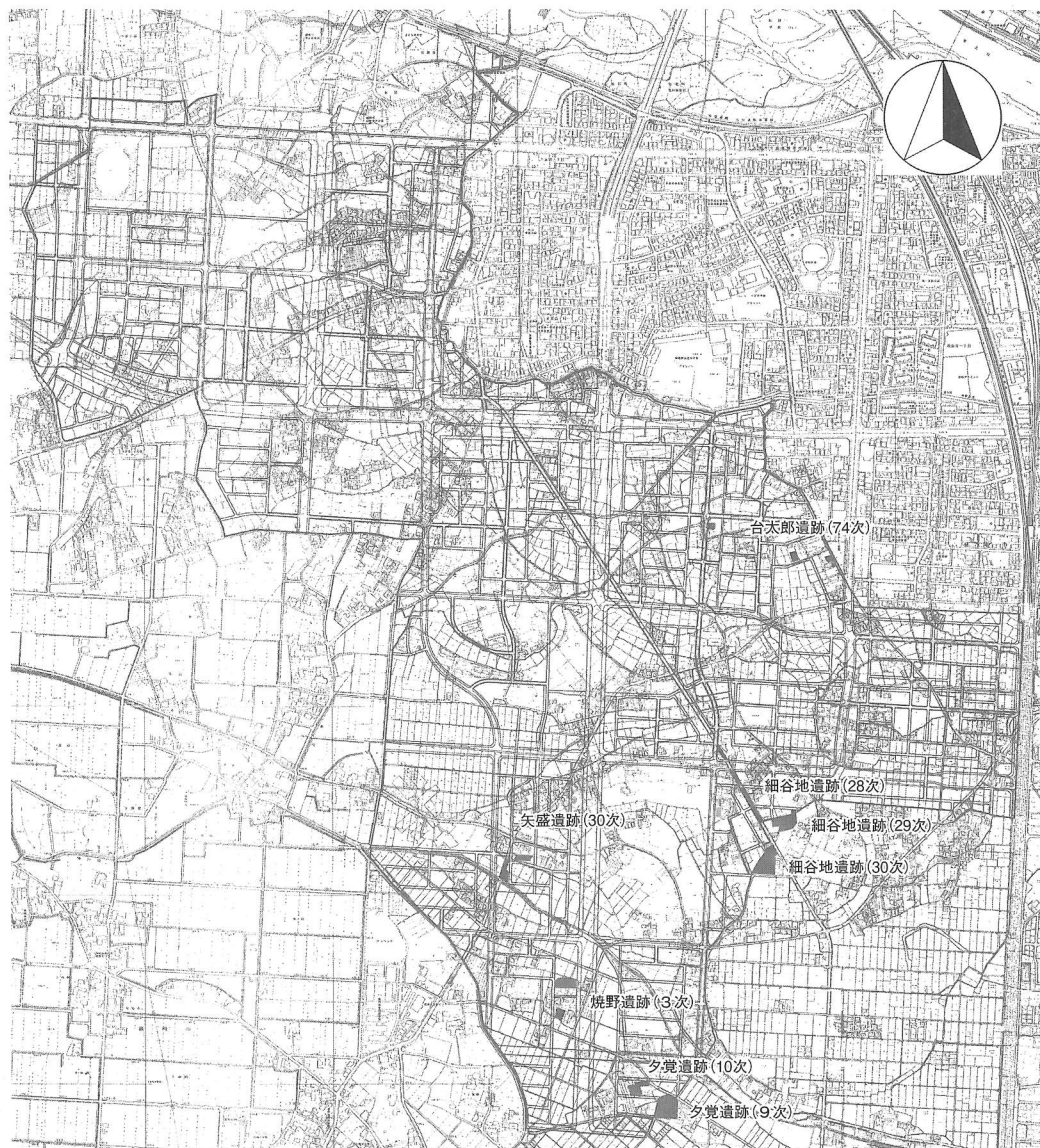


試掘調査状況

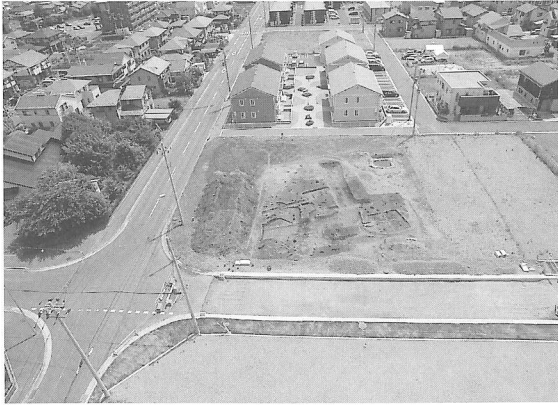
○公共事業関連（盛岡南新都市開発整備事業）

盛南地区遺跡群 — 台太郎遺跡第74次調査、細谷地遺跡第28・29・30次調査、夕覚遺跡第9・10次調査、焼野遺跡第3次調査 —

盛岡南新都市開発整備事業（盛南開発）等の大規模区画整理事業に伴うもので、盛岡市都市整備部及び（独）都市再生機構は（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター及び市教育委員会（遺跡の学び館）に発掘調査の業務を委託し、遺跡の学び館では5遺跡8地点の調査を担当した。遺跡群は北上川の西岸とその支流である雫石川の南岸に広がる沖積段丘上に立地し、段丘の基本層序は基底層が水成砂礫層、上部に水成シルト層～表土で、定まらない雫石川の複雑な河道変遷により、シルト層は旧河道のみならず微高地にも堆積し、古代集落はその微高地に多く分布する。台太郎遺跡は事業区内最大の古代集落跡～中世の居館跡で、今までに約600棟の奈良・平安時代の竪穴住居跡を検出。第74次調査はⅠ～Ⅲ区の3地点で実施され、Ⅰ区から奈良・平安時代の竪穴住居跡4棟のほか、中世居館の堀跡を検出。Ⅱ区では平安時代の竪穴住居跡1棟のほか、古代末～中世期の堀跡2条を検出し、埋土から12世紀半ば～後半のかわらけが出土。Ⅲ区からはⅡ区の堀跡の延長と、奈良時代の大形の竪穴住居跡を検出し、埋土から多量の土器と土製勾玉・土玉・石製装飾品や紡錘車及び布製品が出土した。



第3図 平成23年度 盛南地区発掘調査位置図



台太郎遺跡 第74次調査区全景



台太郎遺跡 第74次調査風景

細谷地遺跡は事業区内の南東部、台太郎遺跡の南方約0.6kmに位置し、第28次調査は2地点で実施され、平安時代の竪穴住居跡2棟、古代の土坑2基、時期不詳の柱列跡・溝跡及び小柱穴などを検出。第29次調査は1地点で実施され、平安時代の竪穴住居跡2棟、古代の溝跡1条、時期不詳の土坑・溝跡及び小柱穴などを検出した。矢盛遺跡は事業区内の南半中央部に位置し、I・II区の2地点で調査を実施。農地及び農家住宅周辺にあり、削平や耕作による攪乱のため遺構の残存状況は良くはなかったが、時期不詳の方形周溝1条、土坑3基、溝跡1条などを検出。遺物は古代の土師器・あかやき土器のほか、農家住宅で使用されてきた近世～近代の陶磁器類も多数出土した。夕覚遺跡第9・10次調査及び焼野遺跡第3次調査は細谷地・矢盛遺跡からさらに南側の事業区内南端部に位置し、トレンチによる試掘調査を3地点で実施した。検出作業は黄褐色シルト層の低位段丘及び旧河道にさしかかる地区では砂礫層面での検出作業となったが、各調査区内から遺構・遺物を確認することはできなかった。



細谷地遺跡 第28次調査区全景



細谷地遺跡 第29次調査区全景



矢盛遺跡 第30次調査区 I 区の全景



夕覚遺跡 第10次調査 試掘調査状況

○民間開発関連

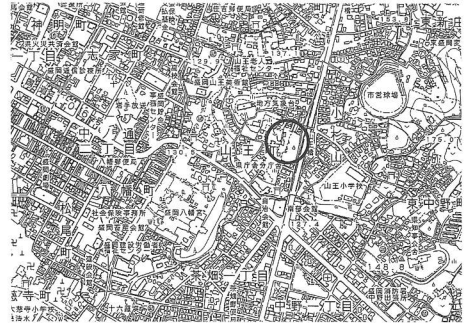
(1) 山王山遺跡第13次調査

- 1 調査地 盛岡市山王町64-1の一部
- 2 調査事由 共同住宅新築
- 3 調査方法 試掘調査～本調査
- 4 調査期間 〈試掘調査〉平成23年4月13日
〈本調査〉平成23年5月9日～5月12日
- 5 調査面積 〈試掘調査〉145㎡ 〈本調査〉66㎡
- 6 調査員 花井正香
- 7 検出遺構 平安時代の竪穴住居跡1棟、縄文時代の遺物包含層
- 8 出土遺物 縄文時代の剥片、平安時代の土師器・須恵器
- 9 調査概要 遺跡は市街地東部、盛岡バイパスの西側法面に位置し、旧地形では北上川左岸、小起伏山地から迫り出した丘陵地の沢筋に立地。頂部には縄文時代中期の集落跡、周辺部緩斜面からは縄文時代早期の遺物包含層並びに奈良・平安時代の集落跡が複合して確認されている。

第13次調査区の現況は旧果樹園で、開発の申請箇所に南北方向のトレンチを設定し、試掘調査を実施。その結果、調査区南半中央部から竪穴住居跡を検出。その部分のトレンチを拡張して掘削される範囲を対象に本調査を実施した。検出された規模は住居の北東コーナーで、東西辺4m以上、南北2.5m以上の範囲で、住居全体の約1/5にあたる。



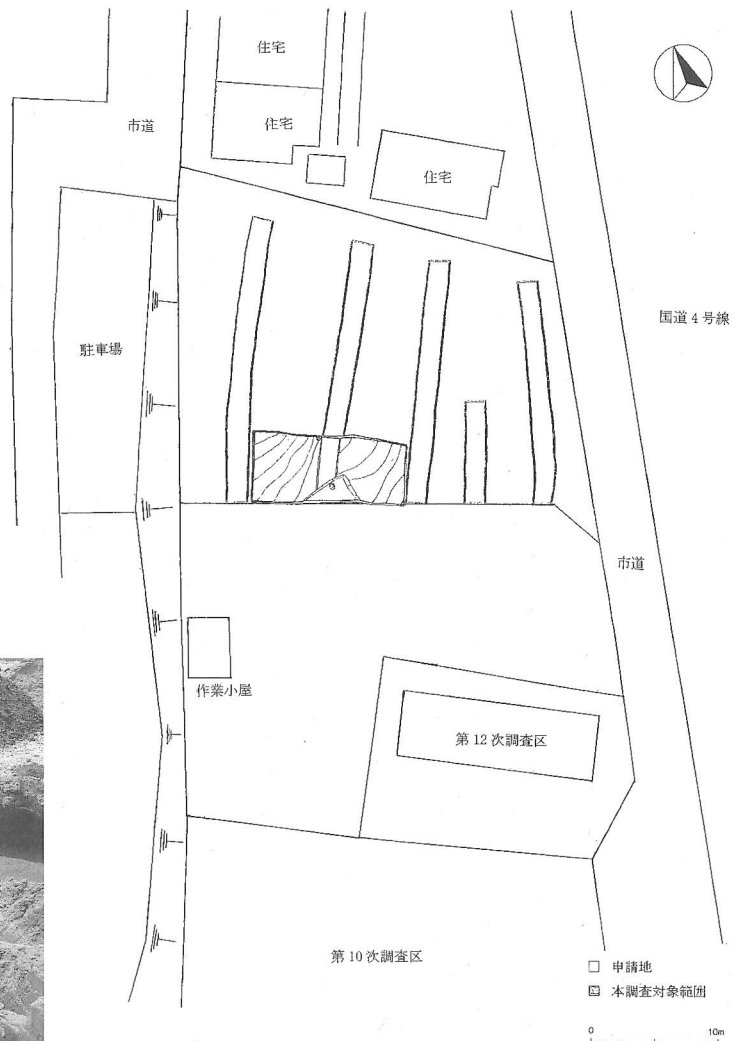
遺構の検出状況



山王山遺跡第13次調査区位置図

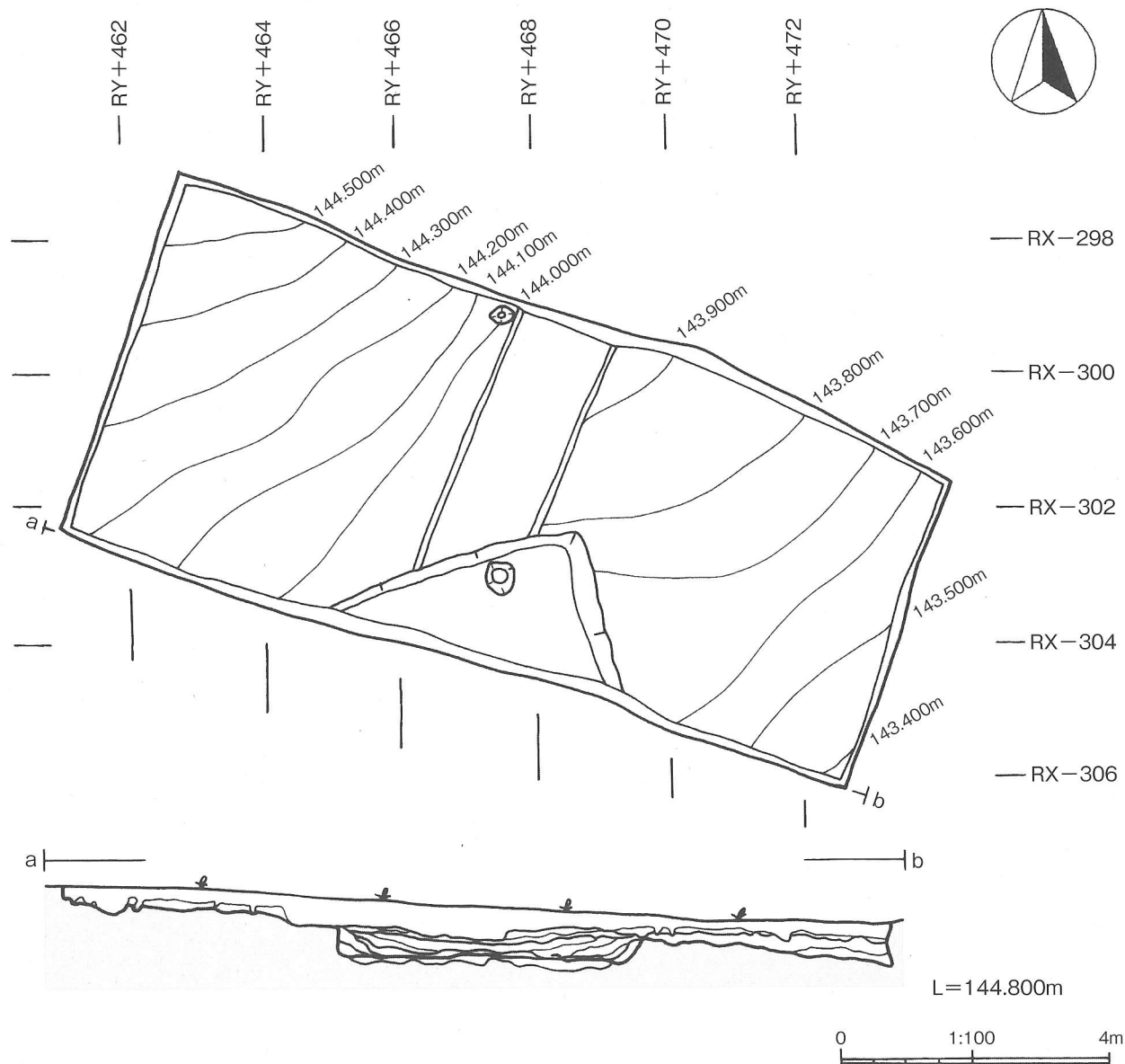


試掘調査の状況



第4図 山王山遺跡第13次調査区位置図 (1:600)

埋土にはやや多めの炭や焼土、そして西暦915年降灰と考えられる灰白色火山灰が含まれる。床面は構築土で叩き締め、北壁寄りに小柱穴が見られる。出土遺物は、土師器坏・甕、須恵器甕の破片50点などで、9世紀後半の所産と考えられる。



第5図 山王山遺跡第13次調査区全体図 (1:100)



調査区全景



検出された竪穴住居跡

だい たらう
 (2) 台太郎遺跡第73次調査

- 1 調査地 盛岡市向中野1丁目15、16-12ほか
- 2 調査事由 宅地造成
- 3 調査方法 試掘調査～本調査
- 4 調査期間 〈試掘調査〉平成23年4月4日～4月5日
 〈本調査〉平成23年5月9日～7月21日
- 5 調査面積 4,360㎡
- 6 調査員 佐々木亮二・三品花菜子
- 7 検出遺構 平安時代の竪穴住居跡8棟、竪穴建物跡7

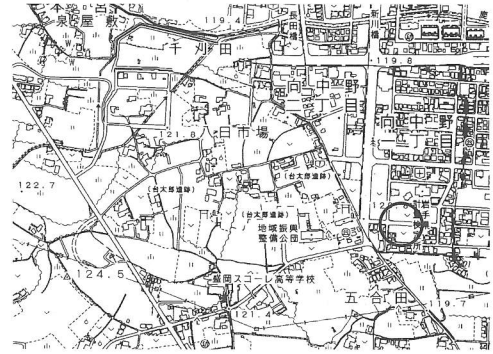
棟、古代以降の土坑21基、焼土遺構1基、溝跡4状、中世の溝跡1条、時期不詳の掘立柱建物跡1棟、溝跡1条

- 8 出土遺物 平安時代の土師器・須恵器・あかやき土器、かわらけ・刀子・砥石ほか
- 9 調査概要 遺跡は市街地より南西2kmの向中野地内に所在し、雫石川南岸に広がる沖積段丘上に立地。

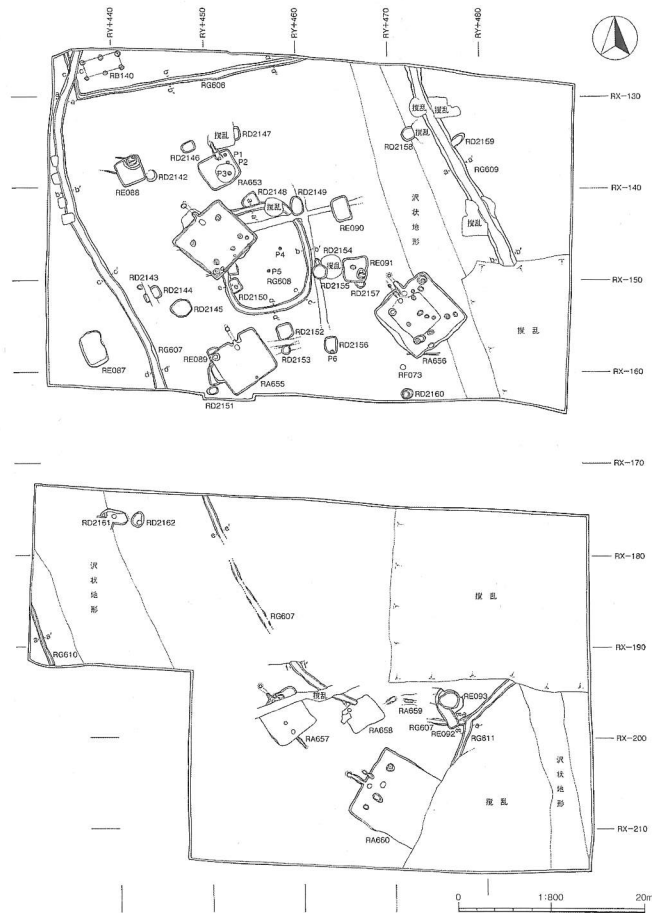
標高は119～123mとほぼ平坦で、かつて周辺域は水田・畑地など大半が農地で占められていたが、近年の大規模区画整理事業で急速に市街化が進んでいる。遺跡の範囲は東西800m、南北500mと広大で、雫石川南岸～北上川西岸の沖積地で最大規模の集落跡となっている。

これまでの発掘調査で、7～10世紀の古代集落、中世の居館を中心とした集落跡・墓域及び近世の村落跡などが確認されており、特に奈良・平安時代の竪穴住居跡は660棟以上を数える。

(本報告刊行済：『台太郎遺跡』—「フローラルアベニュー向中野」宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書—2012年5月 徳清倉庫株式会社 盛岡市教育委員会 発行)。



台太郎遺跡第73次調査区位置図



第6図 台太郎遺跡第73次 上:北側調査区、下:南側調査区



台太郎遺跡第73次北側調査区全景

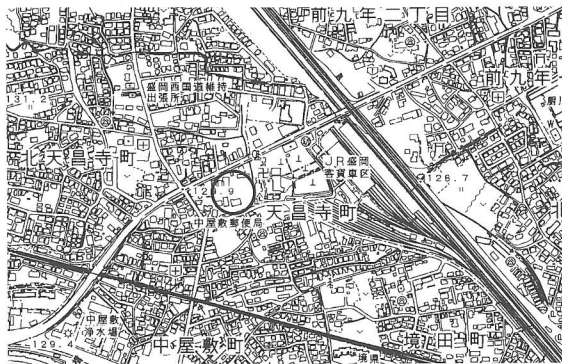


同 南側調査区全景

(3) ^{さだて}里館遺跡第56次調査（平成24年度末に報告書刊行）

- 1 調査地 盛岡市天昌寺町242-5, 245-1
- 2 調査事由 寺院施設及び駐車場建設
- 3 調査期間 〈試掘調査〉平成23年5月19日～5月21日 〈本調査〉平成23年8月22日～11月25日
- 4 調査方法 試掘調査～本調査
- 5 調査面積 2,130㎡
- 6 調査員 佐々木亮二・三品花菜子
- 7 検出遺構 縄文期の陥し穴7基、古代の竪穴住居跡1棟、中世の竪穴建物跡21棟、掘立柱建物跡19棟、中世～近世の柱列跡8列、土坑50基、柱穴813口、近世の竪穴状遺構3棟、溝跡3条など。
- 8 出土遺物 古代の土師器、中～近世の陶磁器・古銭・鉄製品・琥珀原石ほか
- 9 調査概要 遺跡は、盛岡市街地より北西約3kmの標高129～132mの住宅地に所在。東流する雫石川北岸の段丘上に位置し、段丘に沿った南北250～380m、東西650mの範囲と推定される。

里館遺跡は古くから安倍館遺跡と併せ、厨川柵擬定地とされてきたが、昭和50年代からの調査では両遺跡とも15・16世紀を主体とした城館跡で、里館遺跡については今次調査の成果からも近世期まで下る屋敷跡としての性格を有することが判明した。



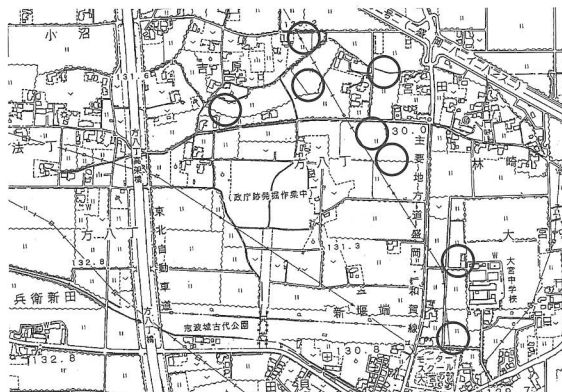
里館遺跡第56次調査区位置図



第56次調査区全景

(4) ^{しわじょうあと}志波城跡第105次調査

- 1 調査地 盛岡市下太田林崎48ほか
- 2 調査事由 電力鉄塔新設
- 3 調査期間及び調査面積 ①〈史跡外〉平成23年4月12日～4月26日 392㎡
②〈史跡内〉平成23年11月25日～12月5日 880㎡
- 4 調査方法 遺構の確認調査
- 5 調査員 佐々木亮二・三品花菜子
- 6 確認遺構と出土遺物 史跡内2地点において、平安時代の竪穴住居跡7棟、溝跡2条、土坑4基、柱穴2口を検出し、遺構からは平安時代の須恵器・土師器の破片が出土している。
- 7 調査概要 市街地の南西部、北上川と雫石川で形成された低位沖積段丘面に立地。国指定史跡地内外8地点において、電力鉄塔の付け替え工事に伴う遺構確認調査を実施。その結果、史跡内の政庁北東部の郭内域から志波城期と考えられる竪穴住居跡等を確認した。



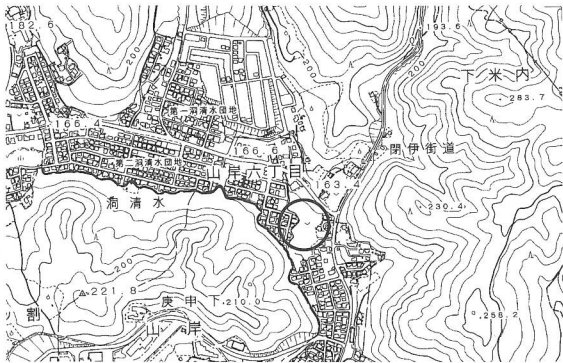
志波城跡第105次調査区位置図



3区の試掘状況

しんちや
(5) 新茶屋遺跡第4次調査

- | | | | |
|-----------|--|--------|--------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市山岸6丁目46-1ほか | 2 調査事由 | 宅地造成 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成23年11月15日～11月18日 |
| 5 調査面積 | 584㎡ | 6 調査員 | 神原雄一郎 |
| 7 確認された遺物 | 縄文時代早期～前期・後期及び弥生時代後期の土器 | | |
| 8 調査概要 | 遺跡は市街地北部の四十四丘陵南東部緩斜面に形成された小規模扇状地に立地し、平成7年度に隣接地で実施された調査では、縄文時代早期から前期の遺物包含層が確認され、今次調査も遺物の年代や出土状態から、同じ遺物包含層の延長上に位置するものと考えられる。 | | |



新茶屋遺跡第4次調査区位置図

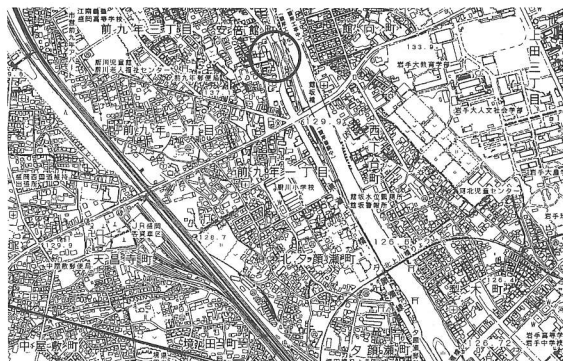


試掘調査の状況

○個人住宅建築等

たてさか
(1) 館坂遺跡第13次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|-----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市前九年2丁目132-1, 132-29 | 2 調査事由 | 個人住宅地の造成・擁壁改修工事 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘確認調査 | 4 調査期間 | 平成24年3月21・22日 |
| 5 調査面積 | 219㎡ | 6 調査員 | 佐々木亮二 |
| 7 確認遺構 | 縄文時代の陥し穴状遺構1基 | | |
| 8 出土遺物 | 縄文時代早期の土器・石器 | | |
| 9 調査概要 | 遺跡は市街地の北西部、南流する北上川右岸の火山灰砂台地南端部に位置する。西～南西向きの緩斜面に形成された縄文時代の遺物包含層は、周辺域からの二次堆積と考えられ、出土遺物は少ない。 | | |



館坂遺跡第13次調査区位置図



調査区全景（試掘調査状況）

報 告 書 抄 録

ふりがな	もりおかしいせきのまなびかん へいせい23ねんど かんぽう							
書名	盛岡市遺跡の学び館 平成23年度 館報							
編著者名	千田和文 室野秀文 津嶋知弘 神原雄一郎 花井正香 佐々木亮二 佐々木紀子 三品花菜子							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 TEL 019-635-6600							
発行年月日	2013年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 (世界測地系)	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しんちゃや 新茶屋遺跡(3・4次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 やまぎし6ちようめ (3次)山岸6丁目46-11.269-2 やまぎし6ちようめ (4次)山岸6丁目46-1ほか	03201		39° 43' 30"	141° 10' 33"	(3次) 2011.11.15~11.16 (4次) 2011.11.15~11.18	(3次)150 (4次)584	(3次)消防防災 施設建設 (4次)宅地造成
あたごやま 愛宕山遺跡(1次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 みつわりあざてらやま 三ツ割字寺山23ほか			39° 42' 37"	141° 09' 55"	2011.12.15	94	市営火葬場立 体駐車場建設
せいなんちく 盛南地区遺跡群 (5遺跡8地点)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 むかいなかのあざようかいちば 向中野字八日市場30-1ほか			39° 40' 57"	141° 08' 25"	2011.5.30~12.28	7,271	公共大規模区 画整理
さんのうやま 山王山遺跡(13次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 さんのうやま 山王町64-1の一部			39° 41' 42"	141° 10' 11"	(試掘) 2011.4.13 (本調査) 2011.5.9~5.12	145	共同住宅新築
だいたろう 台太郎遺跡(73次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 むかいなかの1ちようめ 向中野1丁目15、16-12ほか			39° 40' 57"	141° 08' 25"	(試掘) 2011.4.4~4.5 (本調査) 2011.5.9~7.21	4,360	宅地造成
さだて 里館遺跡(56次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 てんしようじちよう 天昌寺町242-5、245-1			39° 42' 34"	141° 07' 23"	(試掘) 2011.5.19~5.21 (本調査) 2011.8.22~11.25	2,130	寺院施設及び 駐車場建設
しわじょうあと 志波城跡(105次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 しもおたはやしきざき 下太田林崎48ほか			39° 41' 18"	141° 06' 44"	(史跡外) 2011.4.12~4.26 (史跡内) 2011.11.25~12.5	(史跡外) 392㎡ (史跡内) 880㎡	電力鉄塔新設
たてさか 館坂遺跡(13次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 せんくねんちちようめ 前九年2丁目132-1、132-29			39° 42' 48"	141° 07' 51"	2012.3.21~3.22	219	個人住宅地の 造成・擁壁改 修工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
しんちゃや 新茶屋遺跡(3次)	集落遺跡	縄文時代早期~中期		縄文時代早期~前期及び弥 生時代後期の遺物包含層		縄文時代の土器・石器		試掘調査
しんちゃや 新茶屋遺跡(4次)								
あたごやま 愛宕山遺跡(1次)	集落遺跡・ 窯跡	縄文時代		遺構なし		縄文時代前期の土器		試掘調査
せいなんちく 盛南地区遺跡群 (5遺跡7地点)	集落遺跡・ 城館跡	奈良・平安時代、中世・近 世		古代の竪穴住居跡、方形周 溝、土坑、柱列跡、溝跡古 代末~中世の堀跡、		古代の土師器・須恵器・あ かやき土器・鉄製品・石製 品・土製品、羽口、布製品、 近世・近代の陶磁器		平成5年度か らの継続調査
さんのうやま 山王山遺跡(13次)	集落遺跡	縄文時代、平安時代		縄文時代の遺物包含層、平 安時代の竪穴住居跡		縄文時代の石器、平安時代 の土師器		試掘~本調査
だいたろう 台太郎遺跡(73次)	集落遺跡	平安時代、近世		平安時代の竪穴住居跡、竪 穴跡、掘立柱建物跡、土坑、 溝跡		平安時代の須恵器・土師 器、近世陶磁器		試掘~本調査
さだて 里館遺跡(56次)	城館・屋敷 跡	古代~中世・近世		竪穴住居跡、竪穴建物跡、 掘立柱建物跡、土坑、溝跡、 焼土遺構、室跡、陥し穴状 遺構、柱穴		土師器・陶磁器・古銭・鉄 製品・琥珀原石		試掘~本調査
しわじょうあと 志波城跡(105次)	城柵跡	平安時代		平安時代の竪穴住居跡、溝 跡、土坑、柱穴		平安時代の須恵器・土師器		遺構確認調査
たてさか 館坂遺跡(13次)	集落遺跡	縄文時代		縄文時代の陥し穴状遺構、 遺物包含層		縄文時代早期の土器・石器		盛土保存措置

盛岡市遺跡の学び館 平成23年度 館報

2013年3月31日 発行

発行/盛岡市遺跡の学び館

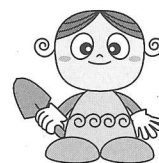
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番1号

電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605

E-mail iseki@city.morioka.iwate.jp

URL [http://www.city.morioka.iwate.jp/moriokagaido/
rekishi/manabikan/index.html](http://www.city.morioka.iwate.jp/moriokagaido/rekishi/manabikan/index.html)

印刷/山口北州印刷株式会社



盛岡市 **遺跡の学び館**